

科目名	一般特別学修 Special Learning(General)	科目コード	50970
-----	-------------------------------------	-------	-------

学科名・学年	全学科・全学年共通
担当教員	学科長・教務主事
区分・単位数	履修単位科目 選択 1～10 単位
開講時期・時間数	通年, 40 時間以上
教科書	
補助教材	
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

資格試験やコンテスト等への取り組みについて、本学在学中の学修により得た知識や技術を評価し、単位として認定する。

○関連する科目： 本校教育課程における一般科目

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(E)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①与えられた課題を解決するために必要な知識や解決方法を身に付けること	100%	(e2)

【C. 履修上の注意】

「一般特別学修」では、本校教育課程における一般科目の内容に相当する学修を認定する。「一般特別学修」の認定は、所定の申請書式と添付資料（対象者と結果等がわかるもの）により申請し、教務委員会の審査により行う。「一般特別学修」により得た単位は、一般科目の選択科目として取り扱う。「一般特別学修」により得た単位は、卒業単位として取り扱う。ただし、進級単位としては取り扱わない。「一般特別学修」により得られる単位の上限は、「専門特別学修」及び「国際関係学演習」と併せて、在学中に合計 10 単位までとする。

当該年度の 1 月 31 日を申請期限とし、2 月 1 日以降の実績については翌年度に申請を行うものとする。

【D. 評価方法】

資格試験やコンテスト等の結果と、そこに至る学修を基に相当単位数を決定し、単位認定（評価、評点なし）とする。

【E. 授業計画・内容】

想定される学修の例は、以下のとおりである。

[資格試験等]

- ・ 実用数学技能検定（1級、準1級、2級）
- ・ 日本漢字能力検定（1級、準1級、2級）
- ・ 工業英語能力検定（1級、準1級、2級）

[研修等]

- ・ 学生海外派遣研修（本校主催）
- ・ 英語海外研修（本校主催）
- ・ 公式団体が主催する海外語学研修
- ・ 本校教員による集中講義 など